



MR予防接種予定の保護者の方へ

いつ、どこで受けるの？

● ワクチンについて

- ・麻疹風疹予防接種(MR)は、定期（接種するよう努めなければならない）予防接種です。

● 受ける場所

- ・別紙の個別予防接種指定医療機関よりご自分で選び接種して下さい。

● 対象者

- ・1期：1～2歳未満
- ・2期：幼稚園年長児

※MRは1期・2期の2回接種です。

● 受け方

- ・1歳児は、1歳3ヶ月までに接種するようにしましょう。（1期）
- ・幼稚園年長児は、6月までに接種するようにしましょう。（2期）
接種は、集団接種（平良保健センターで行われる予防接種）の日程と重ならないように注意しましょう。

● 接種料

- ・対象年齢時は無料（公費負担）です。

● 持参するもの

- ・予診票
- ・親子健康（母子）手帳を持参してください。

※集団接種の予定を確認し、接種機会を逃さないよう計画的に接種しましょう

予診票の再通知
について

通知以外の事
について

お問い合わせ

宮古島市健康増進課予防係

73 - 1978

宮古島市平良保健センター

73 - 4572



MR

麻しん・風しん 混合ワクチン接種について

麻しん(はしか)とは？

- 麻しんウイルスの空気感染によって起こります。感染力がとても強い（インフルエンザの約6倍）病気です。
- 発熱、せき、鼻水、めやに、発疹が主な症状です。合併症として気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎があり数千人に1人の割合で死亡するといわれています。
- 沖縄県は、平成11年～13年に、はしかの流行が2度あり9名の乳幼児の命が失われました。（予防接種は流行を防ぐ、助けあいでもあります）

ワクチンを接種したあとは？（副反応）

- 予防接種を受けた後30分間は、接種会場でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 副反応として、接種後4日～14日の間に発熱や発疹、接種部位の発赤、腫れ、しこり、リンパ節の腫れがみられることがありますが、通常、数日中によくなります。
- まれにアナフィラキシーや熱性けいれん、ごくまれに脳炎・脳症や急性血小板減少性紫斑病が報告されています。

風しん(三日はしか)とは？

- 風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。
- 発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主な症状です。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。
- 妊娠の前半期に感染すると、先天性風しん症候群（心臓病、白内障、聴力障害などの障害をもつ）の赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。
- 平成24年には、関東地方を中心に風疹の流行があり2,353人の患者が確認され（沖縄は46人）5人の先天性風疹児が報告されています。

健康被害の救済制度

万が一、市町村の実施する予防接種で健康被害が生じた場合は、国の審議の下、予防接種法に基づく給付が受けられます。

予防接種のための必要な間隔

予防接種との間隔

ヒブ・小児用肺炎球菌・4種混合ワクチン・DPT・不活化ポリオ・日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎・DT・子宮頸がんの予防接種を受けた人

6日以上あける

BCG・麻しん・風しん・おたふくかぜ・水痘（みずぼうそう）・ロタの予防接種を受けた人

27日以上あける

病気との間隔

ひきつけ（けいれん）を起こしたことがある人
その他、病気で現在治療中の人は、主治医と相談のうえ、接種してください

麻しん・風しん・おたふくかぜ・水痘（みずぼうそう）が治ってから

2～4週間以上あける

手足口病・りんご病・突発性発疹・インフルエンザ・かぜなどが治ってから

1～2週間以上あける

他の予防接種を受ける時

※接種した翌日から数えます。